

会議名 令和5年度第2回広報広聴検討会議

開催日 令和6年3月7日(木)	会議時間	開会 AM 9:30 閉会 AM 11:15
会議場所 役場 多目的ホール	記録者	企画環境課広聴広聴係 主事 青木 未歩
出席者 委員：沼尻賢治委員(座長代理)、ランド千佳委員 加藤茉莉亜委員 町：企画環境課長、参事、広報広聴係		

会議日程

- (1) 広報広聴活動全般について
- (2) SNSの発信(note・Instagram)について
- (3) 動画配信するコンテンツについて
- (4) その他

会議内容

<p>■課長あいさつ、参事紹介</p> <p>■議事(沼尻委員による進行)</p> <p>●広報広聴全体</p> <p>○大野係長より資料1を使って広報広聴活動全般を報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道広報コンクールの特選に選ばれたのは大変すばらしい。広報8月号は限られたスペース内で情報がしっかり整理されていると思った。全国コンクールの結果が楽しみだ。</li> <li>・町内会のメンバーが高齢化してきて、町内会を維持するのが困難になってきている。町内会の班長には、広報を配る仕事があるが、この仕事は高齢者が簡単にできる仕事ではない。広報を配布する人を固定化するという意見も出ている。高齢者は大変なので、その意見も理解できるが、自分がずっと広報を配布し続けるのは重荷に感じてしまう。</li> <li>・過去に広報紙で町内会の特集が掲載されたとき、うちの町内会に加盟してくれた世帯が1世帯あった。町内会の在り方は考える必要があると思うので、町内会についての特集をまた組んでほしい。</li> </ul> <p>(大野) 昨年末に開催したまちづくり懇談会でも、広報紙の配布の仕方についての意見をたくさんいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙を近所の人が訪ねて手渡してくれたときに、一軒一軒訪ねて配布していることを初めて知り、申し訳ない気持ちになった。町内の別の地区に住んでいた時は、町内会もなく、広報紙の入手方法がわからなかったが、今の地区ではポストに配られるのでありがたい。</li> <li>・現在、広報紙が配布されるのは、町内会加入者のみなのか。</li> </ul> <p>(大野) そうだ。町内会を通して加入者へ配布している。そのほかにも、依頼があった個人や関係者へ郵送したり、役場やあそぶっく、コンビニなど町内各施設にも広報紙の設置をお願いしている。</p>
---

・現在のニセコ町には約 3000 世帯あるが、広報の発行部数は 2300 部だ。全戸配布ではないので、情報格差が出てくる。広報紙が持つ意味について、こういったことを議会も含めて考えていただきたい。

（大野）町内配布以外にも外部へ郵送したりしている部分もあるので、実際には約 1000 世帯には配布されていない。

・積極的に町内会への加入を呼びかけているわけではないので、情報が届いていない世帯も多い。

（大野）広報 2 月号の裏表紙に関心のある情報や電子・紙のどちらで読みたいかなどの広報アンケートを入れたが、回答は少ない。

（阿南）現時点で意見は 3 件しか来ていない。

・裏表紙だと目立たず、全部読まないアンケートだということが理解できないような掲載方法になっていた。もっと目を引くような掲載方法にするのがよい。

・小見出し、リード、キャッチがあると変わるかもしれない。

・ウェブサイトの改修費の予算がつかなかったのは残念。

（大野）来年度は水道管の維持修理などが必要なため、ホームページの改修の予算は、補助金など自分たちで財源を見つけて行うように、とのことだった。

## ●SNS の発信

○伊藤地域おこし協力隊より SNS の発信（公式 note）について報告

○青木主事より SNS の発信（公式 Instagram）について報告

・風景写真だけでなく、お店の紹介など、ライフスタイルに寄り添った投稿をするのがよい。関係事業者を積極的にフォローしたり、自分たちの写真でなく、ほかの事業者の投稿をリポストしたりすると、ネタ切れにはならないと思う。

・事前に許可をもらえば、投稿で使える。了承を得た後、写真をダウンロードして投稿するという方法もある。

・インスタグラムの人格、ターゲットをしぼることが重要。

・タグ付け機能などを活用し、少しずつ投稿の幅を広げるとよい。

・町内の人や事業者を積極的にフォローし、投稿へのいいねも積極的に行ったらどうか。

・農家、ホテル、レストランなど様々な業種の人に特派員をお願いしておく、投稿内容も切り口も変化が出て面白い内容になると思う。

・今のフォロワーは、ほとんどが町民かニセコ町を応援したい人なので、町外の人向けの内容ということはあまり気にしなくてもよい。

・インスタ投稿をいかに「楽しい」と感じられるかが大切。「楽しい」と思って投稿しないとフォロワーも増えない。

・インプレッションが減っているのは、気にしなくてよい。

・町役場としてどういう運用をするのか、関係者内で方向性などをしっかり決める。

（阿南）週ごとに投稿内容のテーマやカテゴリーを決め、あらかじめ投稿をスケジューリングしてみるのいいと思う。一方で他業務もある中で、組織としてどれだけ人と時間をさけるかという問題もある。

●動画配信するコンテンツについて

○阿南参事より資料 2 を使って報告

- ・議員が動画配信が必要だとおっしゃっている理由はなにか。

(阿南) 役場には動画配信機材があるが、活用頻度が少ない。せっかく購入したのに活用されていないのはもったいないという意見。情報共有の意味もあり、議会でも活用したいとのこと。

- ・議会は動画を配信するのか。

(阿南) 3 月議会から撮影し、収録して動画配信する。

・必要であればいつでも動画配信できるように用意は必要だと思う。今後必要があればやるというのは、町の姿勢として重要。しかし、今の町の動画の視聴者数などを踏まえると、人も予算もかかることなので、必要ないということも理解できる。

・会議の様子をすべて公開するのではなく、会議内容を要約したものを発信するほうが見る人に対して親切だと思う。

(阿南) 情報共有という意味では、以前から審議会の傍聴は誰でも可能で、会議資料も渡している。必要となれば、動画配信の準備は整えておく。